

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	荻村集会所		No.	237
大分類	01市民文化系施設			
小分類	集会所			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	地域移管を前提としているため

担当部署名	産業振興部農林水産課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管	調整中
『該当する』を 選択した理由	地域の集会施設として機能が定着しているため。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度	2028年度								

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設移管についての協議する。		
	2024年度	施設移管についての協議する。	目標未達成（取組中）	適化法上の処分制限期限2027年度末。地域移管については協議しているが、地域での施設受け入れは、少子高齢化のため応じられないとのこと。
第2期	2025年度	施設移管についての協議する。	目標未達成（取組中）	昨年度に引き続き継続協議中。
	2026年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成1年
建物延面積	100.00 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市荻村集会所の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	荻村地域における産業振興、生活文化の向上を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	3,462円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		3,462円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-3,462円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-35円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-9円/日

(3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	153	187	131	215	329	203	162%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久手地域農作業準備休養施設		No.	245
大分類	01市民文化系施設			
小分類	集会所			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	地域移管を目指しているため

担当部署名	産業振興部農林水産課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管	調整中
『該当する』を 選択した理由	久手土地改良区の事務所として使用しているため地域移管の方向で考えている。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	施設の移管(土地改良区へ)								
評価が達成される年度		2029年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設移管についての協議		
	2024年度	施設移管についての協議	目標未達成（取組中）	建物を付けて移管する協議していく。 適化法上の処分制限期限2026年度末
第2期	2025年度	施設移管についての協議	目標未達成（取組中）	指定管理期間を2028年度まで継続の方針。市内土地改良区の合併を進めており、合併後の事務所となる可能性がある。施設の老朽化が施設移管の課題となっており、土地改良区合併と施設移管と共に継続協議。
	2026年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成14年
建物延面積	104.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市農作業準備休養施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	農村地域における農業の振興を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	5,880円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		5,880円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-5,880円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-57円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-16円/日

(3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	1,165	1,156	1,058	1,059	1,133	1,114	101%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	北三瓶農村ふれあいセンター		No.	246
大分類	01市民文化系施設			
小分類	集会所			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	地域移管を念頭に協議してきたため

担当部署名	産業振興部農林水産課
ブロック	三瓶
地区	山口

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管	調整中
『該当する』を 選択した理由	土地改良区の施設で地域の集会所、地元農産物加工場として使用しているため。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	施設の移管(土地改良区へ)								
評価が達成される年度		2028年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2024年度	施設移管についての協議。	目標未達成（取組中）	適化法上の処分制限期限2027年度。
	2025年度	施設移管についての協議。	目標未達成（取組中）	利用状況が少なくなり次期指定管理を受けない可能性があり、そうした場合、浄化槽の休止・電気の利用停止等、諸手続きと経費が必要となる。移管に向け、継続協議中。施設移管だけでなく用途廃止・解体やそ
	2026年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成15年
建物延面積	126.70 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市農業・農村活性化施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	中山間地域における農業及び農村の活性化を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R5決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R5決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	9,308円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		9,308円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-9,308円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-73円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-26円/日

(3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	200	200	100	30	20	110	18%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	和田堰操作室		No.	249	担当部署名	産業振興部農林水産課		
大分類	14その他（普通財産を含む）							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称	土地改良施設突発事故復旧事業 (補助)実施要領					
	有	計画名	土地改良施設突発事故復旧事業(補助)の「施設の保全対策・監視に関する計画」		計画期間	2024～2029	改定・見直し 時期	2029
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	産業振興部農林水産課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	◆インフラ施設扱い	
『該当する』を 選択した理由									

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
	2024年度			
第2期	2025年度			
	2026年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成6年
建物延面積	20.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	—
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R5決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R5決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	川北排水機場		No.	250	担当部署名	産業振興部農林水産課		
大分類	14その他（普通財産を含む）							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称	土地改良施設突発事故復旧事業 (補助)実施要領					
	有	計画名	土地改良施設突発事故復旧事業(補助)の「施設の保全対策・監視に関する計画」		計画期間	2024～2029	改定・見直し 時期	2029
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	産業振興部農林水産課
ブロック	西部
地区	長久

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	◆インフラ施設扱い	
『該当する』を 選択した理由									

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2024年度			
	2025年度			
	2026年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成7年
建物延面積	146.06 m ²
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	湛水被害の除去及び地下水位の低下を図り、周辺農地の汎用化を実現し、地域農業の振興を目指すため。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R5決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R5決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	308,400円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		308,400円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-308,400円	市民一人あたり税金充当額	-9円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,111円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-845円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							